業績書(教育職員免許法施行規則第22条の6号関係)

氏 名	岡野諭	学 位	博士 (理学)
担当授業科目	物	理学実験及び演	羽 百

1 経歴, 学会及び社会における活動等

学歴:

明星大学理工学部物理学科(現·総合理工学科物理学系) 日本大学大学院理工学研究科量子理工学専攻博士前期課程 日本大学大学院理工学研究科量子理工学専攻博士後期課程 平成 19 年 4 月~平成 23 年 3 月 平成 23 年 4 月~平成 25 年 3 月 平成 25 年 4 月~平成 28 年 9 月

職歴:

日本大学理工学部 理工学研究所 研究員 神奈川工科大学 基礎・教養教育センター 物理系列 非常勤講師 埼玉工業大学 非常勤講師 平成 29 年 4 月~現在 平成 29 年 4 月~現在 平成 29 年 4 月~現在

所属学会:

日本物理学会

平成25年7月~現在

2 著 書

著	書	名	単著・共著の別	発 行	所	名	刊行年月日	備	考
なし									

3 学術論文等

学術論文等の名称	単独・共同の別	発表雑誌等名	発行年月日	備	考
① A no-go theorem for the	共同	Journal of Mathematical	平成 29 年		
<i>n</i> -twistor description of		Physics, Vol. 58, No. 3,	3月2日		
a massive particle		031701 (pp.1-6).			
② Gauged twistor formulation	共同	Physical Review D,	平成 28 年		
of a massive spinning		Vol. 93, No. 4, 045016	2月12日		
particle in four dimensions		(pp.1-22).			
③ Canonical formalism and	共同	International Journal of	平成 26 年		
quantization of a massless		Modern Physics A,	3月21日		
spinning bosonic particle in		Vol. 29, No.8, 1450044			
four dimensions		(pp.1-21).			

4 学会発表等

発表課題の名称	単独・共同の別	発表学会等の名称	発表年月日	備	考
学会発表 ① ツイスター変数を用いた 有質量粒子の記述について	共同	日本物理学会 2017 年 秋季大会,栃木	平成 29 年 9 月 12 日		
②ツイスター模型における 高階スピノル場の分類	共同	日本物理学会 2015 年 秋季大会,大阪	平成 27 年 9月 27日		
③ SU(2) ゲージ対称性をもつ 有質量粒子のツイスター模型	共同	日本物理学会 2014 年 秋季大会,佐賀	平成 26 年 9月 19日		
④ ツイスター形式に基づく 有質量粒子の正準形式	共同	日本物理学会 2013 年 秋季大会,高知	平成 25 年 9 月 23 日		

以上